



これから梅雨入りになるはずが、先に夏日がやってきました。それと共に夏風邪を見かけるようになりました。

最近テレビで話題になっている“手足口病”も夏風邪の一種です。

夏風邪の代表と言えば“ヘルパンギーナ” ヘルパンギーナは・・・



発熱と口腔粘膜にできる水疱性の発疹が特徴です。

原因は エンテロウイルス (コクサッキーA群・コクサッキーB群・エコーウイルス)

3日前後で熱は下がり、発症から1週間ほどで回復します。

今話題の“手足口病”は、同じエンテロウイルスでも特にコクサッキーA16とエンテロ71の感染によるもので、数年に1度全国的な流行が見られるものです。



感染経路としては、経口・飛沫・接触のいずれも重要です。

名前の通り、手足口に水疱が見られることに加え、お尻にも水疱ができます。

子供は皮膚が柔らかいので大人よりもつらそうではありませんが、皮膚の硬い大人が足底に

水疱が沢山できると歩くのもつらくなります。



3つは“プール熱”。咽頭結膜炎の別名です。プールでの感染が多いことからこう呼ばれています。

原因は アデノウイルス (2, 3, 4, 7型・特に3型)

ウイルス自体に季節性はないので、最近は夏に限らず流行が見られることがあります。

同じアデノウイルスで目に集中してひどい症状が出るのが流行性角結膜炎。いわゆる『流行り目』

アデノウイルス8,19,37,54型が原因です。

プール熱と流行り目 鑑別が必要です →

	プール熱	流行り目
発熱	+	-
咽頭発赤	+	-
目の症状	+	+++
下痢・嘔吐	乳幼児で +の事あり	-



小児科医 副院長

椎貝 典子